

とよなか 環境



ニュースレター

発行：NPO法人とよなか市民環境会議 第21号
編集責任者：奥野 享
事務局：豊中市環境情報サロン内
〒561-0804 豊中市曾根南町1-4-3
Tel:06-6863-8792 Fax:06-6863-8734

この号のハイライト

P.1 環境展/P.2 セミぬけから調査/P.3 豊島北小学校食育/P.4~5 環境展、環境と私/P.6 省エネ講習会、リサイクル見学会/P.7 とよなか市民環境会議/P.8 今後のスケジュール

2009年(平成21年)春号 NO.26 (通巻第44号)

環境展2008 私たちのトライ

環境展2008、今回も3400人の参加者があり盛会裏に2日間の行事を終えることができました。が、いつも思うことはこのイベントが150人に近いボランティアのスタッフに支えられているというすごい裏方の力です。そんなスタッフの声を聞いてみました。



未来の森づくり

豊中の緑はどんどん減っています。緑の回復と温暖化防止のため「未来の森づくり」を呼びかけました。千里の竹で作った竹ポットにクヌギやコナラなどのどんぐりを植え、約1年半自宅で生育を観察した後に市内の適地に移植し、森を育てようというものです。親子での参加や、子どもたちのグループなどたくさんの参加があり、子どもたちの未来に希望が持てました。

(自然部会・佐々木忠弘)



稲から米ができる!

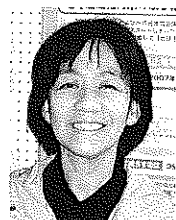
子供たちの食育に取り組み、ミニ田植えの体験もやってきましたが、環境展では脱穀した稲を、次の段階の、もみすり機で米になるのを見してもらいました。大人でももみから米になるのを見ることが少なくなっているのですから、子どもにとっては、とても興味深い機会です。機械の底でこねるようにしてもみ殻がとれる。そのとき米が温かくなっているのをじかに手に触れて体感するのは不思議そのものようでした。

(花と緑のネット・下見美里)

いろいろな形での参加

事業部会はスタッフが少なく他の部会とはちょっと取り組みのおもむきが異なりますが、でも部会に参加している企業に、いろいろな形で環境展に協力していただいています。それが何よりも心強く感じているところです。今回は省エネ診断などで参加をお願いし、また新しい試みである地域通貨「そねか」の発行にも快く協力いただき運動への新展開を感じています。

(事業部会・茨木かづ子)



「待ってました」の客

竹炭プロジェクトの活動を2枚のパネルで展示し、竹炭の製品の頒布と自然工作を行った2日間でした。竹炭を製品にするのは顔を煤だらけにしての作業ですが、これも楽しいものです。「竹炭さん待ってましたよ」と、製品を3つ、4つと買ってくださるお客さんもあって、とても嬉しく感じています。100%豊中産の竹炭が認められて来たのだなあと喜びいっぱいです。

(竹炭プロジェクト・川並清忠)



1日エコチェック

地球温暖化防止のために環境家計簿に取り組んでいますが、環境展ではより簡単で取り組みやすく、興味を持ってもらえるようにと、1日エコライフチェックを試み、日頃の省エネについてのチェックシートへの書き込みとともに、大きな紙にシールを貼ってもらい、200人程が参加。エコライフカレンダーのモニターにも新たに60人の登録がありました。

(生活部会・松崎渥繁)





自然部会

セミのぬけがら調査・豊中2008

93年、95年と比べて

昨年の7月～9月にかけて行われたセミ調査の冊子が完成し、2月21日午後くらしかんで、セミ調査報告会を開催しました。

動物や植物が環境の指標になることはよく知られています。地球の温暖化の影響を受けて、冬眠しない熊が出てきたとか、南方系のナガサキアゲハが10数年前から姿を見せるようになり今では珍しくなくなったとか、冬には死滅するはずのホテイアオイや、ボタンウキクサが、冬を生き延び異常繁茂して困る、等の話は環境の変化を語るものです。

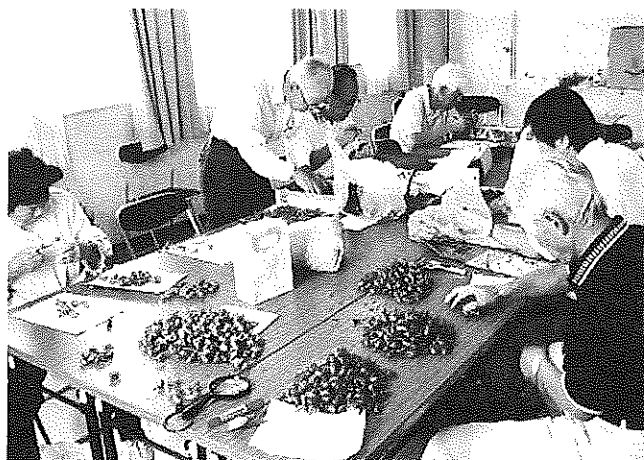
気象台が毎年きめられたサクラの木のつぼみの重さを測って開花予想をしたり、モンシロチョウの初見の日を調べたりするのは、だれにでもよく知られている生物を指標としているからです。セミについても、半世紀前の昆虫少年にとっては、クマゼミの標本を作ったら、鼻が高かったという話を聞きます。

今回の調査がそこまで考えて始められた訳ではありませんが、結果的にはある程度の成果が出たのではないかと考えています。

豊中でのセミ調査はこれまでに、1993年に教育研究所が市内の小・中学校に呼びかけて11校が参加した『セミの抜け殻調査』と、1995年に市の環境課が市民に呼びかけて行った『セミ調査』があります。1993年の調査は、各学校の校内ということで行われましたが、11校ながら市内の北から南へ偶然にもほぼ片寄ることなく行われています。今回の調査と比べ、数量的には4割ほどでしたが、比較できる調査でした。1995年の調査は、セミの鳴き声と視認という形で行われています。しかも、量的には◎・○・△で表し明確な数量として比較することはできませんでしたが、鳴き声という定性的な比較はできました。

さて、今回の調査は、7月の広報で市民に呼びかけ応募された方を含め、25人で36カ所を分担し、鳴き声については、期間中市内のどこであっても聞こえた場所と聞いた種類を記録して調査しました。

ぬけがらは、7月19日までのぬけがらを7月分、8月16日までのものを8月分、9月13日までのものを9月分として、まとめて環境情報サロンに送ってもらい、9月20日にスタッフ数名が1日掛かりで、拡大鏡でセミ種類と雌雄を判別しました。なにしろ、



ぬけがらの総数が10400を越える数でしたから、目は疲れるし大変な作業でした。

結果から見ると1993年から2008年の15年間でクマゼミが約8%増え、アブラゼミが7%減っています。ツクツクボウシにつきまちは、前は単独では調査されていなくて、ヒグラシやツクツクボウシなどをその他のセミとして扱っているため、単純に比較はできませんが少なくなっています。ニイゼミは増えているようです。

1995年の調査と今回の鳴き声について比較してみると、ミンミンゼミの南限が少し北に寄った、ヒグラシが市の東部へ移った、ツクツクボウシが増えた、というような結果が出ました。1993年と1995年、2008年の調査はそれぞれ調査方法や調査場所など異なるため、正確な比較はできませんが大まかな比較はできたように思います。

(山口壽)

*セミのぬけがら調査・豊中2008

ご希望の方には冊子をさしあげます。

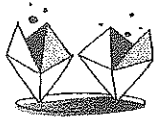
アジェンダ事務局までお問合せください。

TEL: 06-6863-8792

環境クイズ

かつては山にいたニホンリスが、今ではかなり減って豊中では絶滅したかもしれません…。リスがいる証拠は、餌を食べた残骸で分かります。ある食べ物にそっくりです。さて何でしょうか。

- ① コンペイトウ ② 海老フライ
- ③ カニのツメ (こたえは8ページ)



豊島北小学校4年生3クラスが、残暑厳しい昨年9月、片道25分かけて「緑と食品のリサイクルプラザ」へ生ごみリサイクルの学習に訪れました。施設見学の後、じゃがいもの話と種芋の植え付け、12月には植えたじゃがいもの収穫も行いました。（うれしいことに、その日の学校給食はいつもより、もりもり食べていたそうです。）今後とも見学の際には、可能な限り農体験も取り入れ子ども達のこころに残る食育体験メニューを展開したいと思います。次の記事は、学校にお願いして書いていただいたものです。（高島邦子）

投稿

植えて、掘って、食べて大満足の体験

夏休み明けの9月4日、4年生の110名は「緑と食品のリサイクルプラザ」に種芋植えに出発しました。プラザでは、ジャガイモのお話を聞かせてもらった後、一人2個ずつ種芋を植えました。その他にもベルトコンベヤーで運ばれていく給食の食べ残し・畑で育てている作物・堆肥（とよっぴー）の山→手を入れるとその温かさにみんなびっくり・トラクターの運転風景などいろいろなものを見せてもらったり、体験させてもらったりと中身の濃い3時間を過ごしました。

そして、収穫は12月2日。今までサツマイモ掘りなどの収穫体験のある子達は朝から興奮し、体験のない子達も校外での活動にうきうき気分。「今年のいもは不作です」とのお話だったけれど、掘り始めていったらいっぱいあってみんな「うわ〜！」でした。なっていた柿もいっぱいむいてもらい、競争のようにパクパク。玉ねぎの苗を植えさせてもらったり、白菜・チンゲン



菜・大根・ほうれん草の育っている様子を見せてもらったり、野菜などのお話とクイズをやってもらったりとこれまた盛りだくさんな3時間でした。

後日、収穫したいもで「ジャガイモのお焼き」パーティをしましたが、道具の準備・皮をむく・すりおろす・まぜる・焼く・食べる、それぞれ十分に満喫して、最後の後片付けもびかびかになるまで、やり終えました。

「すごくおいしかったのは、ぼくたちが植えた苗を、プラザの人に育ててもらって、ぼくたちが掘ったジャガイモを使って、ぼくたちがお焼きを作ったからです」と一人の男の子が感想文に書いていました。

た。土を触るおもしろさ・種芋や植物の成長への期待・収穫の喜び・食物を大切に作る心・料理をする楽しさ・人とのかかわりなど、たくさんの大切なことを十分に味わい学ぶことができた貴重なジャガイモ体験でした。（豊島北小学校教諭・浅野節子）

ブログ開設、広がる環

花と緑のネットワークは、プロジェクト活動を開始してから9年、NPO法人になってから5年、その間に活動は広がり、スタッフ・参加者として関わる人は多人数になりました。そこで活動をスピーディーに多くの人に知ってもらうために、この度ブログを開設しました。このブログは、当法人へのPanasonic NPOサポートファンドの助成が決定し、その一環として宝塚NPOセンターのアドバイスを受ける中で開設したもので、《関西ええこと、mot》の一員となります。《関西ええこと、mot》はNPOや市民活動をする団体・個

人のブログの集合体ですので、そこにアクセスする多くの人の目に留まります。

花と緑のネットワークのブログでは、「その日の活動はその日のうちに！」（少し遅れることもあります…）をモットーに、写真を添えて記事を掲載、これから行われるイベントの予定も載せています。開設当初は1日30件くらいのアクセスでしたが、最近では70件ほど、多い日は129件を記録。「300件くらいはすぐですよ」という宝塚NPOセンターの方の言葉を励みに、情報発信をしていきたいと思っています。一度、花と緑のブログにどうぞ。（村瀬令子）

関西ええこと 花と緑 で検索してください。

環境展2008

12月12日、13日の2日間にわたって行った人に近く、前回よりは小学校の参加者が少し減りまニークな環境展として、次回への新たな足がかりかに押されて、今回特に目立った取り組みのいくつか

電気屋さんと工務店さん

家庭での省エネの工夫は、どんな点に注意すればよいか—そんな相談窓口を引き受けてくれたのは、大阪府電気商業組合豊中支部（家電相談）と豊中建設業協会（住宅相談）でした。市民会館の入り口を入ると、住宅の相談窓口が1カ所、家電相談が2カ所。家電相談はパソコンも使って行います。



2日間を通し、家電相談の窓口には108人、また家のリフォームなど住宅相談には39人が訪れました。これは予想を上回る盛況でした。

家電相談では最初に電気・ガス・灯油・ガソリンな



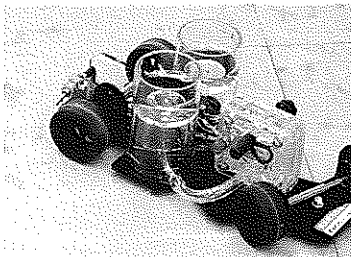
西淀川高校がバイオエネルギーの精製装置を持って参加

家庭から出される天ぷらの廃油がディーゼルエンジンのオイルとしてリサイクルできます。そんな実験装置を見せてくれたのは西淀川高校でした。精製するのに3~4日かかるようですが、化石燃料でなく、未来のエネルギー源として重宝されそうです。高校生の子どもたちは綿菓子の機械も持ち込み、一生懸命に綿菓子をつくり、子どもたちに好評でした。



水素燃料電池の車が2カ所で

豊島公園の入り口では、大阪府の提供による水素ガスを使った燃料電池のバスの試乗があり、静かに走る快適な乗り心地に皆満足。ただし燃料である水素の供給ステーションの少ないのが問題。



また、大会議室ではNPO法人大阪環境カウンセラー協会が、水素を積んだ燃料電池の小さな模型自動車を走らせて参加者の目を引きました。

これらは確かに未来の乗り物ではあるのですが、水素を取り出すことの難しさがまだクリアできていないので、実用化はまだ遠いように思われました。



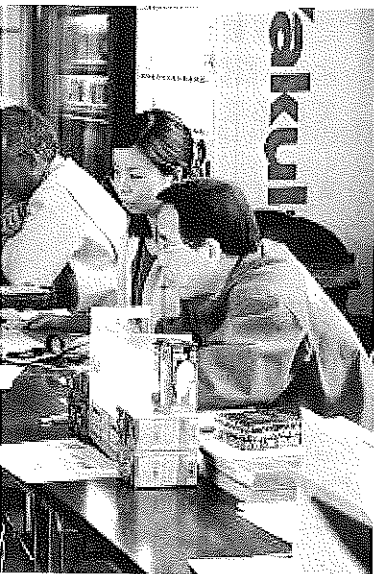
おもしろ自転車は今回も人気

市民会館前の駐車場では今回もおもしろ自転車が子どもたちに人気で、これは河内長野市の自転車遊園地から借りてきたもの。動物や電車などの形や、車輪の軸をずらしてガタガタ走る自転車など、順番を待っては試乗する子供の列ができました。

8アラカルト

環境展2008は、出展48団体、参加者は3500
でしたが、内容としては新たな出店もあって、ひと際ゴ
造られたかのような印象をもちました。そのような声
を眺めてみることにしましょう。

の省エネ相談は大繁盛



どの金額と20項目のアンケートに答えます。すると標準の使用量と比較したグラフや、台所・部屋・風呂と洗面・掃除洗濯・買い物と外出の5点で5角形のグラフが描かれた、最終評価の診断書が発行され、電気屋さんからアドバイスを受けました。

地域通貨そねかも試みる

なお、環境展では新たな試みとして省エネ相談を受けた人と、また天ぷらの廃油を提供してくれた人には、1枚100円相当の地域通貨「そねか」を広告費により提供。約3万円相当額が発行され、協力店舗で1万8千円の利用がありました。



手作りの小物が盛りだくさん だった消費者協会のブース

壁際の机に並べてられていたのは、あるはあるは手作りの小物がいっぱい。牛乳パックで作った一輪差し、同じく牛乳パックを芯にかわいい布を貼りつけたカードケース、ペンケース、マイ箸袋、アクリル毛糸のたわし、…などなど。

一方では、数人のスタッフがテーブルを囲み「肩たたき棒」を製造中。布でくるんだ軽い棒ですが、中身はと言うと、折込広告を巻いて菜箸ぐらいの太さのパイプにしています。それを20本ぐらい束ねて握りやすい太さにし、布製のひも状の袋に詰めています。肩たたき棒として固さも重さもちょうどよいと重宝されるようです。環境展のあちこちで、その肩たたき棒をもっている人が見かけられました。

環境とわたし

⑳

柳澤俊治さん

花と緑のネットワークとよなか



れました。

畑はまず土づくりが大切ですが、それには「とよっぴー」を重宝しています。水遣りや草抜きなどで、最盛期はほぼ毎日農園に来ます。出かけるところがあり結構気に入っています。

やはり、子どもたちの驚きや喜ぶ顔が一番です。日ごろ土に触れることのない子どもたちにとり、苗を植えたり草抜きをしたり、収穫してそれを食べるという体験は、格好の生きた教材になっているでしょう。

収穫のときに子供たちがあげる歓声を聞くとときが最高の喜びです。

公務員生活をしながら畑をやっていたとき、花と緑のネットワークから「指定農園」の依頼を受け、親子やボーイスカウト、あるいは豊中市の子育て事業などで、イチゴ狩りやサツマイモの収穫体験に協力したのがきっかけでした。

その後、耕していた畑が使えなくなるのと同時に、リサイクルプラザで実験農園の活動がはじまり、自分の使っていた農機具類を持ち込んでお手伝いをしていたら、農園長に祭り上げられました。

3区画(約700m²)の畑で季節に適した作物を育てるのです。また、自分が育てていたミカン・柿・ビワ・ブドウなども移植しました。昨年は柿が豊作で子どもらに喜ば



環境家計簿エコチェック学習会

1月19日13時30分から、くらしかん体験学習室でひょうご環境創造協会の寺本佳生さんを招き「環境家計簿エコチェック活動と私たち」と題した話をききました。参加者はエコライフカレンダーモニターを中心に20人、私たちが取り組む環境家計簿の運動と同じような活動を兵庫県全域に呼びかけ、500世帯余のモニターから3カ月ごとに二酸化炭素排出量のデータを集めています。そうした運動を続けてきた経験から学んだことなど、非常に参考になる話を聞くことができました。

寺本さんの取り組んでいる活動は、組織の名称が示すとおり県全域に広がりを持っているので、私たちのようにコンパクトなまとまりが作りにくいようでした。で、2007年に仲間が大きく増えたときの動機の調査では「神戸新聞に記事が載ったのを見て」というのがよかったとも語っていました。でも結局は「やって



いる人から進められた」と活動参加の動機を語っている人が30%以上もあったというのは、どこの運動も同じようなことをやっているなあとい

う感を強くさせられました。

講師の話は、このように環境家計簿をつける地道な活動から何が生まれるかと自問しつつ、「支え合う社会の広がっていくこと」が私の夢です、と語っていました。保険会社のサラリーマンをやめて、財団法人の仕事に転職した寺本さんの決意のようなものが強く感じられ印象的でした。
(奥野)



見学会 エコファームと家電リサイクル施設

1月21日(水)「家電・食品リサイクル見学会」を開催しました。今まで“ごみ”として捨てられていた物をリサイクルしてもう一度活かして役立てる仕組みを見学しようと計画したもので、広報で募集した市民や事業部会・生活部会のメンバーなど25人が参加しました。

午前中は兵庫県三木市にある、コープこうべの店舗から出る野菜や肉・魚の加工くすからたい肥を作り、そのたい肥を使って安全・安心な野菜を生産する「エコファーム・みずほ協同農園」を訪れました。「化学肥料だけを入れていると土が弱ってくる。土を保つ力になるのが有機肥料(たい肥)である」というお話や、減農薬栽培で育てる際の虫対策など苦労話をお聞きした後、建物の中で熟成されているたい肥を見せていただき、そのたい肥を使って育てられた大根の収穫体験もさせてもらいました。



午後は兵庫県加東市にある「パナソニックエコテクノロジーセンター」を訪れ、家電リサイクル法の指定品目である、テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機のリサイクルの現場を見学しました。製品のほとんどの素材や部品は再商品化されて、新たな製品や資源として生まれ変わります。そのため

に懸命に働いている従業員の姿が印象的でした。現場の声はリサイクルしやすい商品の開発にも活かされているそうです。

また家電4品目を排出する際に私たちが受け取ったリサイクル券には『お問合せ管理番号』が付いているようで、排出された使用済み家電が適正に処理されたかどうかを電話で確認できるそうです。最後まできちんと管理されていることがわかります。支払っているリサイクル料金はしっかり活かされていると実感できた見学でした。
(茨木かづ子)

第2回「とよなかエコ市民賞」を贈呈しました



環境への負荷の低減や自然との共生、快適環境の創造などに自主的、積極的に取り組んでいる団体を表彰する、「とよなかエコ市民賞」。創設して第2回目となる平成20年度(2008年度)は、2団体が選ばれました。

第2回

●●受賞団体紹介



赤ちゃんからのESD

子どもたちが平和で安全に過ごすことのできる未来をつくるために、身の回りの生活や子育て環境を見直していこうという活動。毎月1回、千里公民館に子育て中の親が子どもと一緒に集まり、子育て環境について学んだり話しあったりしています。また定期的にまちあるきをしながら、地域の良いところ探しをしています。

また、環境に対する意識を高め3Rを促進し、循環型の地域社会をつくるためのきっかけづくりとして、地域で陶器のリサイクル市「陶器とりかえ隊」を開催しています。



陶器とりかえ隊
(ひがしまち街角広場)



大阪北生活協同組合

❖リサイクル活動

牛乳パック、アルミ缶、スチール缶、食品トレイ、ペットボトル5品目を全店舗で回収し、すべての品目をリサイクルしています。

❖ライトダウンキャンペーン

温暖化防止推進のため、6月22～24日、店内の天井照明25%消灯など各店舗で消灯場所を決めて実施しました。

❖1日エコライフキャンペーン

参加者のエコライフデーを決め、「1日エコライフチャレンジシート」を実行。平成19年度(2007年度)は1,700家族(3,068名)の参加があり、690kgのCO₂を削減できました。



1日エコライフキャンペーンに参加する組合員



ライトダウンキャンペーン

とよなか市民環境会議では、とよなかエコ市民賞を通して、環境活動の模範となる団体を表彰、紹介することにより、環境的に持続可能なまちづくりに向けた行動の輪が広がることをめざしています。次回エコ市民賞は平成21年(2009年)夏頃募集する予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。(☎6858-2128)

スケジュールのお知らせ

🗨️ 「写真による豊中のムシしらべ」
調査員募集説明会と観察会
4月18日(土) 13時30分~16時30分
中央公民館 視聴覚室

🗨️ 自然ふしぎ発見クラブ
「竹の赤ちゃんに会いに行こう」
4月25日(土) 10時~12時
千里中央公園

🗨️ アジェンダ総会
6月17日(水) 15時20分~16時00分
豊中市立市民会館 大集会室

🗨️ 竹きり体験(3月~6月)
竹炭焼きと窯だし(3月~6月)
毎月実施します。9時~12時
千里中央公園 詳しくは事務局まで

🗨️ おもちゃ病院(4月~6月)
第2土曜日 10時~12時
(受付は11時30分まで) 環境情報サロン

🗨️ とよっぴー有料頒布(3月~6月)
第2土曜日&第4水曜日 10時~11時
緑と食品のリサイクルプラザ

編集室から

▼「春一番」というのは、漁師が突風を警戒して言うことばなんだと雑談の中で話題になる。歳時記も確かにそう書いています。でも風邪をひいて咳が治らない老躯にとっては、何かにつけ春が待ち遠しい季節であるのに間違いないと独り納得。(Z)

▼2月には味噌を作ります。大豆を柔らかく煮てマッシャーで潰し、麴・塩を入れて混ぜ捏ねてみそ玉を作り容器につめます。心地良い汗がにじむ。昼食には1年ぶりの再会で会話がはずみ楽しいひとときです。10月頃味噌ができるのが待ち遠しい。(H)

▼適度な少食や断食が寿命を伸ばすことは動物実験などでも知られているようです。夫は最近時々半日断食をしています。私はどうも…。エコな健康法だとわかってはいるのですが、クウ…(Y)

▼最近、環境シンポジウムを聴講しました。3例の里山再生プロジェクトの事例発表で共通していたことは、①継続すること、②地域住民を取り込むことでした。環境活動の成功の秘訣は絶やさないことが先決と感じ

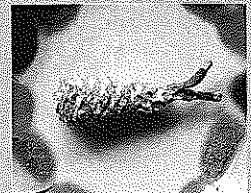
ました。(S)

▼まだ3月始めというのに陽射しがまぶしいこの頃。うれしくて犬の散歩に出歩こうちに、だんだん顔が黒くなってきました……。冬でもUVケアが必要だと実感。それにしても今年もう雪は積もらないのでしょうか。(K)

▼むかしむかし私が着た振袖に身を包んだ娘はママにそっくりと言われ、おんなじDNAだも〜ん! 誕生日には1989年産のワインで乾杯。冷酒も飲んで顔色一つ変えないのは父親のDNAかな。ちょこっとのお酒で酔える私に似ればエコですが…。(P)

環境クイズの答 ②の海老フライです。

マツの若い実を芯としほ状のものを残して食べた跡です。山中にマツの大木があれば、その根元を探してみてください。



《広報チーム》

Z奥野、H岡、Y小村、S猪尾、K宇佐美、P大村

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>
Eメール ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp

ご寄付のお礼

環境展にて、ご寄付が寄せられました。
アジェンダ21の活動に。

・環境展オーガニックカフェ様 5,000円

エコSUN市民発電事業に。

・大根の提供によるカンパ 12,956円

ありがとうございました。